



海水浴



活動内容 玄海の海岸は遠浅で海水浴に最適です。本物の海の波に触れ、潮風を感じることで、自然の雄大さや美しさを体感できます。遊泳範囲の設定や監視体制の打ち合わせで安全面も安心です。休憩時にはスイカ割りや砂遊びの活動も実施することができます。

対象	必要時間	活動人数	活動形態
制限なし	2～3時間	200名まで	一斉
活動場所	必要引率者	活動適正期間	自然・感性 ◎ 創意工夫
海浜	総括責任者(1名) 水際監視(1～2名) 海中監視(活動人数に合わせて変動)	6～9月のみ実施可	主体・計画 協調・協働 粘り強さ 人間関係

活動の流れ	利用団体		「玄海の家」職員	
	事前	【会議】海会議(会議室)※9:00(午前)、13:00(午後)	【会議】海会議(会議室)	
		気象条件・参加人数・活動内容・監視体制・使用ロッカー・活動場所・海浜集合時刻等の確認		
	活動	※浮き輪・ビーチボール・ゴムボード等遊具の持ち込みは不可 ※ゴーグルは使用可、水中メガネは使用不可	※活動が実施可能の判断 ※団体の人数に応じた活動範囲の設定	
【集合】運動広場(団体で実施)(30分) ①着替えを済ませて集合(運動広場) ②準備運動・諸注意・パディの確認		【指導】海水浴について指導 ・海浜清掃 ・諸注意(パディの確認、危険行為等) ・監視 ※清掃後の海浜清掃用ネットを回収		
事後	【片付】シャワー(海浜出入口)(30分) ・着替え(海浜出入口更衣室) ・更衣室・ロッカーは指導者が点検	【指導】シャワー ・体の砂を洗い流すように指導		

引率者の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・研修生と一緒に海に入り、安全を確認 ・有事の際に対応できるように陸上から研修生の監視 ・活動終了後のシャワーで、体についた砂を洗い流すよう指導
活動の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・水泳帽の着用を厳守(安全管理のため) ・紫外線によるやけど防止のための着衣(ラッシュガード、Tシャツ等)は着用可 ・クラゲなどの海の危険生物には近づかない ・ごみは(燃えるごみ/缶・金属類/ガラス・ビン/陶器)の4つに分ける ・生き物、中身の入った容器、注射器(針のついたもの)などの危険物には触らない
「玄海の家」で準備できるもの	水域制限ロープ、海浜清掃用ネット※見学者用のテントは1はあります。
利用団体で準備するもの	水筒、タオル、水着、水泳帽子、救急医薬品 マリンシューズ※ビーチサンダル、クロックスも可。ただし履いたまま海には入れない。